

議会報告会（正・副委員長報告）

報告者 児玉文彦委員長
くりはらえりこ副委員長

委員会名	市民環境常任委員会
開催日時	令和4年（2022年）2月24日（木） 午前9時30分から
開催場所	議会全員協議会室
出席議員	児玉文彦委員長、くりはらえりこ副委員長、くり林こうこう委員、井上三華子委員、日向慎吾委員、久坂くにえ委員
内容	<p>（件名及び審査概要）</p> <p>「市民環境常任委員会」に関しまして、私（<u> </u>）が報告させていただきます。</p> <p>本日は山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する3件の陳情と意見書の提出について、ご報告いたします。</p> <p>陳情第31号「山ノ内交番の存続を求める意見書の提出についての陳情」及び陳情第37号「J R北鎌倉駅前の山ノ内交番の存続を求める意見書提出についての陳情」は、神奈川県大船警察署から、J R北鎌倉駅前の山ノ内交番を統合（廃止）するという連絡があったことから、山ノ内交番の存続を切望する住民の声を受け止め、存続を神奈川県の関係機関に働きかける意見書の提出を求めるもので、令和3年12月定例会において当委員会に付託され、12月9日に審査しました。</p> <p>市の説明によると、山ノ内交番は昭和46年に建てられ、大船警察署管内の交番としては最も老朽化が進んだ施設であり、神奈川県警察交番等整備基本計画に基づき台交番へ統合するとのことで、市としては、地域の治安が悪化することのないよう、緊急時の対応体制の確保やパトロールの強化などを大船警察署に要請するとともに、交番の設置主体である県に対し、地域住民に十分な説明を行うように要望したとのことです。</p> <p>審査の結果、継続審査となり、令和3年12月定例会閉会後の12月23日の委員会において、当委員会委員と神奈川県警察本部との意見交換を行うことが決定され、令和4年1月19日に意見交換会を開催し、神奈川県警察本部が策定した神奈川県警察交番等整備基本計画における同県警の考えや今後の対応など状況を確認しました。</p>

その後、令和4年2月定例会に当委員会に付託された、陳情第38号「山ノ内交番の統合（廃止）計画見直しについての陳情」は、神奈川県警察本部が計画の見直しを行うよう働きかけることを求めるもので、いずれの陳情も、山ノ内交番の存続について、意見書の提出など、関係機関に働きかけるよう求めるものであることから、2月24日の委員会において、これら3件の陳情を一括して審査いたしました。

審査の結果、次のような相違する意見に分かれました。

一つは交番の設置主体は県であり、12月に県議会に提出された本陳情と同趣旨の陳情が、現在も継続審査とされていることから、本陳情を継続審査とすべきとの意見。

もう一つは、これまでの調査で実情が把握できたことを踏まえ、地域住民が望む地域の安全を守るための方策を、県にしっかり取ってもらえるような意見書を提出したいと考えること、また、山ノ内交番が管轄する山ノ内地区の町内会協議会8町内会及び台旧番地地区の3町内会から提出された本陳情は、地域の住民が一丸となって要望されたものであり、地域の意見を県や県警にしっかり伝えていくべきであることから結論を出すべきとの意見でありました。

以上のような異なる意見に分かれましたが、多数により結論を出すこととし、その後継続審査を主張した委員も加わり、採決を行った結果、全会一致をもって3件の本陳情を採択すべきものと決したのであります。

そして「市民環境常任委員会」としましては、神奈川県及び神奈川県警察本部に対して、

神奈川県警察交番等整備基本計画における山ノ内交番の統合（廃止）を見直し、地域住民の声を聴きながら、存続を望む地域住民の安全・安心に資するよう、最大限の方策を検討し、その実現に努めることを求める「山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する意見書」を令和4年3月4日の本会議にて提出し、総員賛成により可決されました。

以上で報告を終わります。